

2018年度 四万十町 地域イノベーター養成講座 第2回 ビジュアルレポート

地域
イノベーター
養成講座
オープンフォーラム

今日は
貸し切りのため
「古民家カフェ半平」
は休業します。
ご了承ください。

古民家カフェ半平

実施概要

- 実施名称 四万十町地域イノベーター養成講座 第2回
- 日時 平成30年7月15日（日） 11時00分～17時00分
- 会場 四万十町役場十和地域振興局
- 主催 四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容 「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全6回の地域イノベーター養成講座を開催。一人一人が自分ごととして、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。
- 参加者 出席者8人
メンター5人
事務局1人

プログラム

| | |
|-------------|---------------|
| 11:30 | チェックイン・概要説明 |
| 12:00-12:30 | フューチャーコラージュ |
| 12:30-13:30 | 昼食 |
| 14:00-16:00 | マイプログループシェア |
| 16:00-16:30 | フューチャーコラージュ紹介 |
| 16:30 | チェックアウト |

- ① 一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す
- ② “ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す
- ③ ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

自分に基づいた (My)

「何かを、プロジェクトの形にして (pjt) やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、
自分のミッションを生み出していく

| | | |
|--------------------|---|-------------|
| マイプロ Me編 | 名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来) | 作成日： 場所： |
| 似顔絵・写真 | みんなが知らない自己紹介 | |
| 自分ヒストリー 音 (～)学校 | 人生グラフ：横軸は年で、縦軸はイキキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見る化しよう！ | |
| (～中学・高校) | | |
| (～専門・大学) | みんなが知らない自慢・一発芸・得意技 | |
| (～現在) | | |
| 今 | | |
| マイプロジェクトの源泉へ | | |

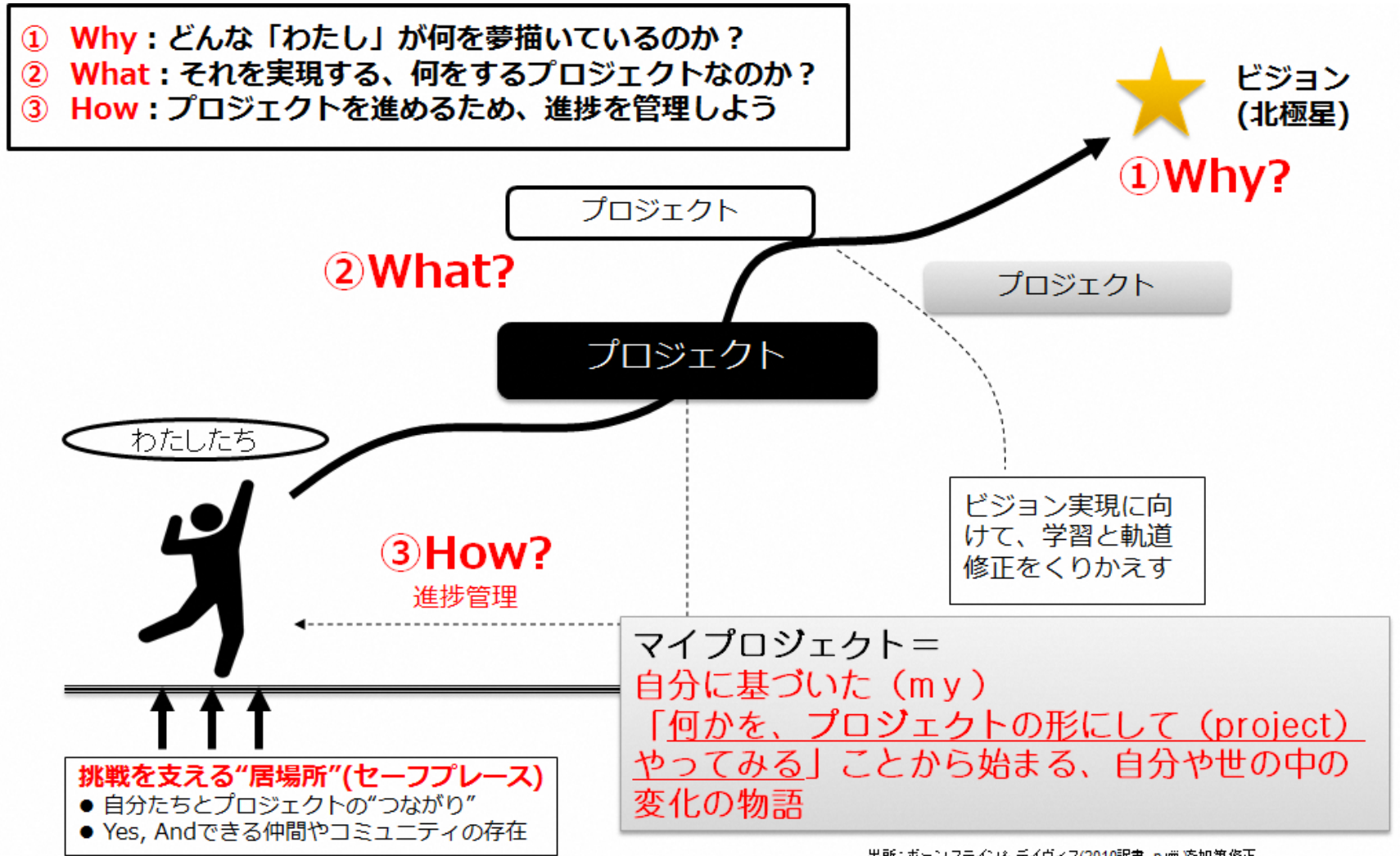
← me編シート

- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

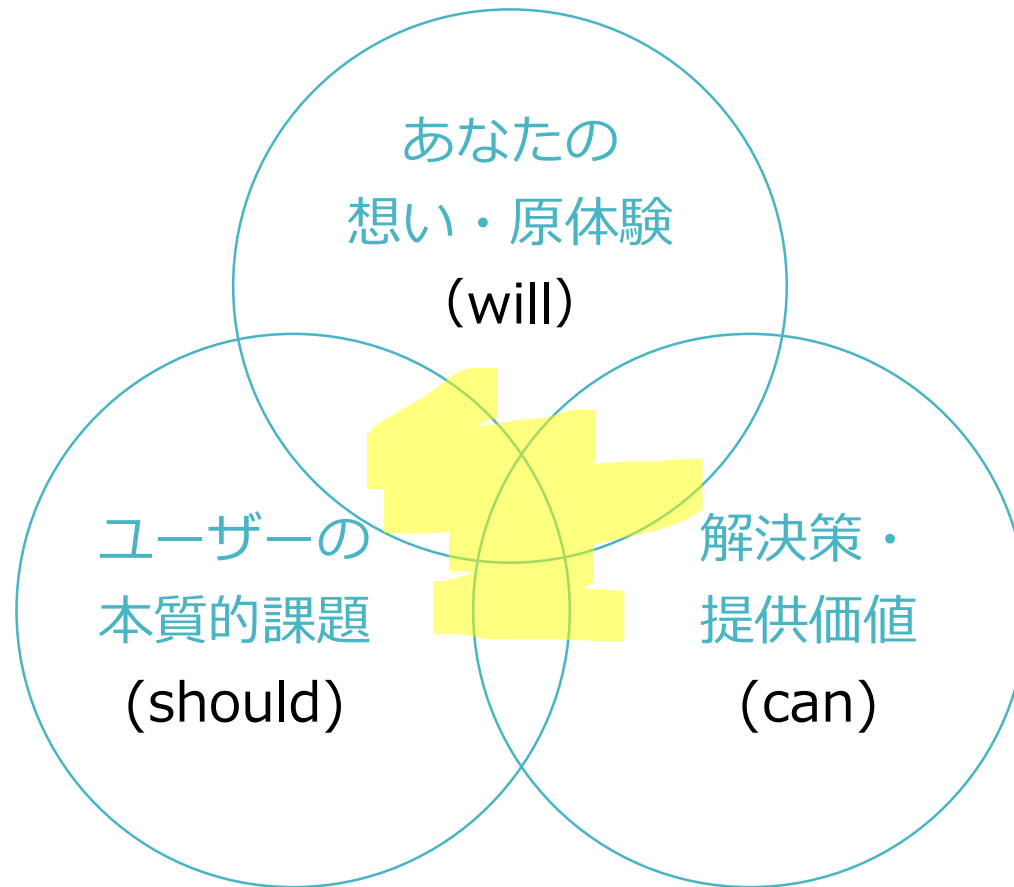
project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

| | |
|---------------------------|---------------------|
| PROJECT編 | |
| わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で！ | |
| ■実践したいプロジェクトの概要 | |
| | |
| ■「やってみたい！」と思った、理由や背景、原体験 | ■「誰」にどんな価値を生み出しますか？ |
| | |



出所: ボーンSTEIN& デイヴィス(2010訳書, p.14) 追加修正
※ 井上英文作成



チェックインで、自己紹介と今の気持ちを共有した。



持ち寄った雑誌（写真）を使い、「プロジェクトが成功した姿」を想像しながら、からコラージュを作成した。



チームに分かれ、マイプロをシェア。今回は主にプロジェクト内容の共有を中心に共有した。お互いのアイデアを共有することで、協力できるところが見つかったり、新しいアドバイスをもらうことで、少しずつプロジェクトの実現性が出てきた様子だった。



マイプロの様子①



マイプロの様子②



マイプロの様子③

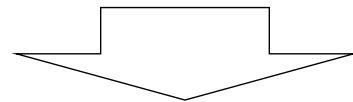


マイプロの様子④

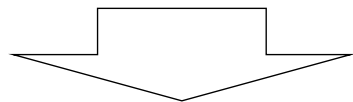
作成したコラージュに対して参加者みんなで感じたこと、気づきを出し合った。作成者本人は自分のコラージュの説明をせず、ただ黙ってみんなからの声を聴く形をとった。



STEP1: “My Story” → “It’s me ”



STEP2: 「共に」 一歩踏み出す

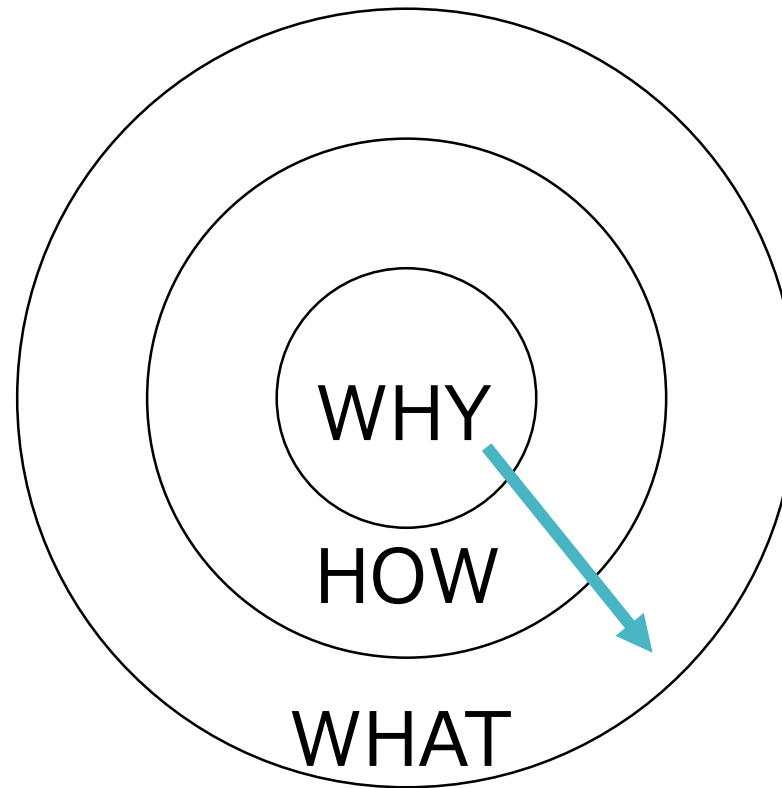


STEP3: 仲間として支え合う

変化歓迎・失敗歓迎・立ち止まり歓迎

プロジェクトの成功より、

一人一人が自分の人生を生きているかどうか？

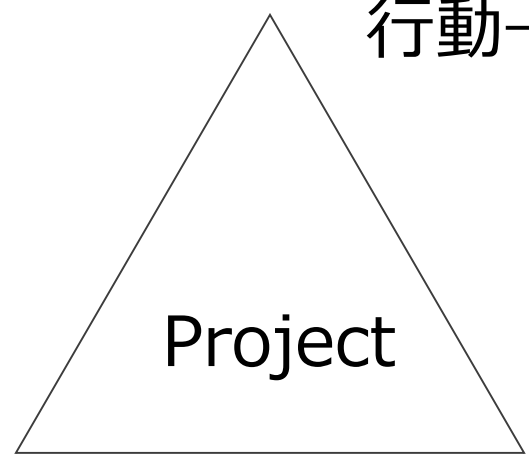


「なぜ」 → 「どのように」 → 「何を」

サイモン・シネック(2012)『WHYから始めよ!』日本経済新聞出版社.

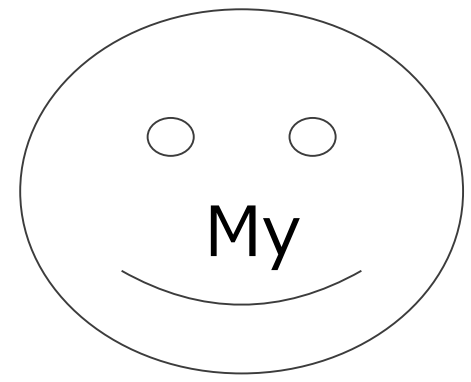
行動→気づきと仲間

「わたし」
のWill



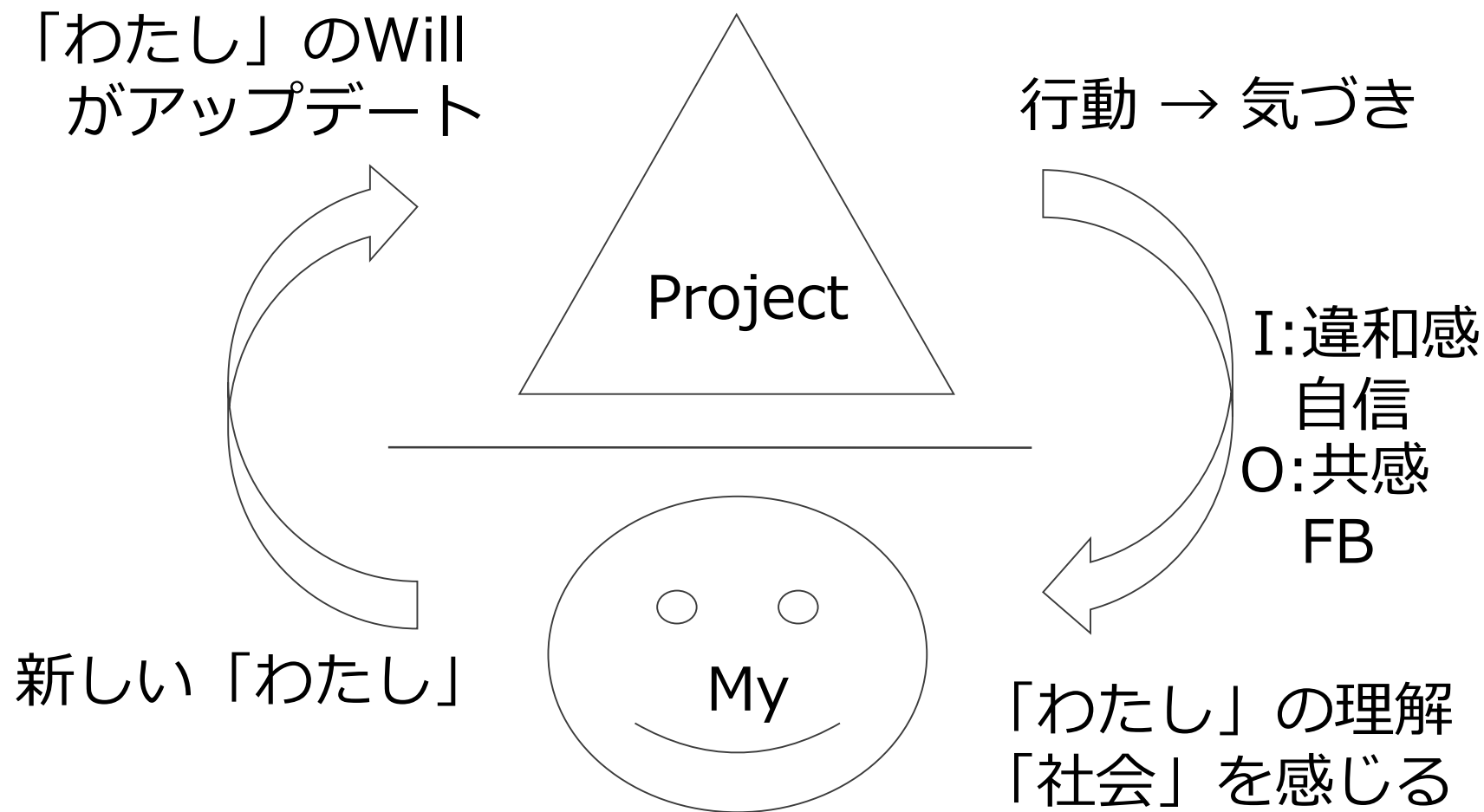
賞賛
共感
違和感
失敗
成功

新しい「わたし」

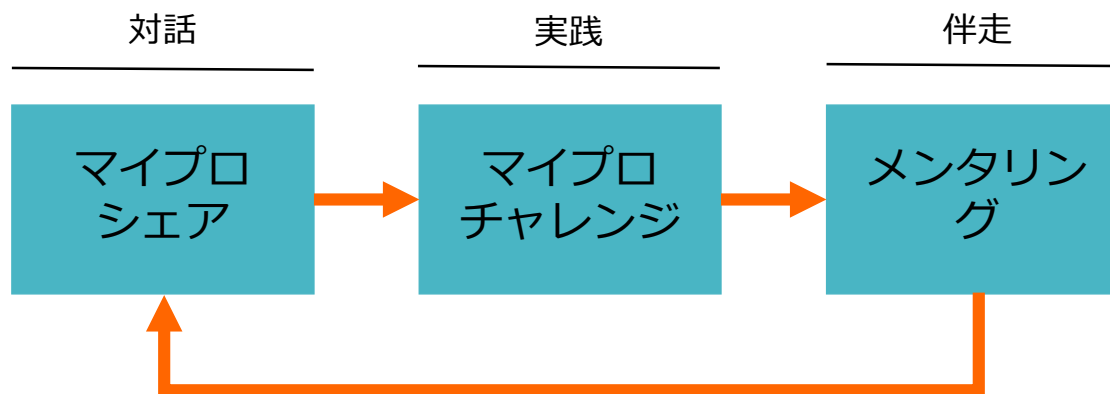


自信
「わたし」の理解

出所：ビジネス・ブレイクスルー大学 須子善彦氏作成資料より



出所：ビジネス・ブレイクスルー大学 須子善彦氏作成資料より



- 四万十町地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指します。
- 対話を通じて一人ひとりのマイプロを共有し、一人ひとりが小さな実践を行い、それを受講生と大学生が相互にメンタリングを行いながら、「本当に自分がやりたいこと」に取り組んでいきます。
- こうしたプロセスを通じて「ジブンゴトをミンナゴト」にしていくための一人ひとりに法則を見つけ出していきます。
- 地域にイノベーションを起こすためには知識や方法論、メソッドはもちろん、本当に自分がやりたいこと、気になることを、仲間とともに小さな一歩を進めることから始まる、というのが私たちの基本的な考えとして講座を進めていきます。

① マイプロシート(me&pjt編)をみんなの前でシェア



② みんなからフィードバック



③ プレゼントカードを書いて渡す



④ アクションを試してみる



⑤ 気づきを踏まえてシートを書き換える



※みんなで支え合いながら、
このサイクルを超高速で回していく

最後に、須藤から「アクションをまず行うことの意義」についてレクチャーがあり、まずは行動に起こし、少しでも前に進めるなかで気づきや変化を感じる力を各自が獲得していくことが重要との指摘があった。





高知大学 講師
須藤 順



高知大学 地域協働学部
3回生
藤原拓登



(株) エイチタス
近藤瀬文



高知県立大学 社会福祉学部
2回生
竹崎優子



高知大学 地域協働学部
2回生
西村咲菜



高知大学 人文社会科学部
2回生
中西宏樹



高知大学 地域協働学部
1回生
高橋萌瑛

四万十町役場 人材育成推進センター

担当：主査 横山 光一

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：講師 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。